村のお金はこのように使われました。

一昭和四十九年度決算 一

村では11月27日村議会で昭和49年度の決算を承認いただきました。そのあらましをお知らせいたします。
村の会計は，使途が定められている特別会計と，一般会計に区分し収支をあらわしています。まとめますと右の表になります。

（単位千円）

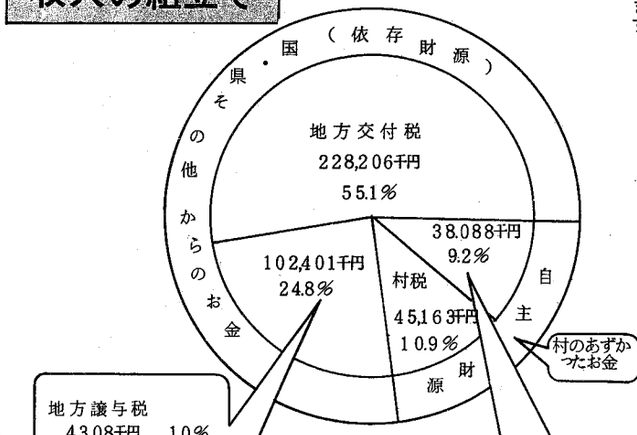
会計区分	収入	支出	差引残金
一般会計	413,858	397,173	16,685
国保事業会計	84,099	82,658	1,441
簡易水道会計	16,818	18,496	△ 1,678
上越新幹線事業会計	139,092	128,495	10,597
合計	653,867	626,822	27,045

※△印は赤字会計です。

一般会計

昭和四十九年度は前年に比べ収入全体が二六・一%増加しその中でも地方交付税が三二・一%、金額で五五、五五一千円が多く交付され村のふところを健全にし、前年に引き続き、皆さんの協力によって道路改良等の仕事をおし進めることができました。では、この会計をさらに詳しく図にしますと次のようになります。

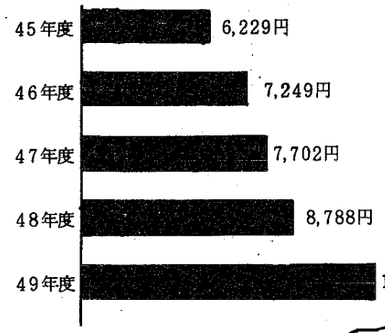
収入の組立て



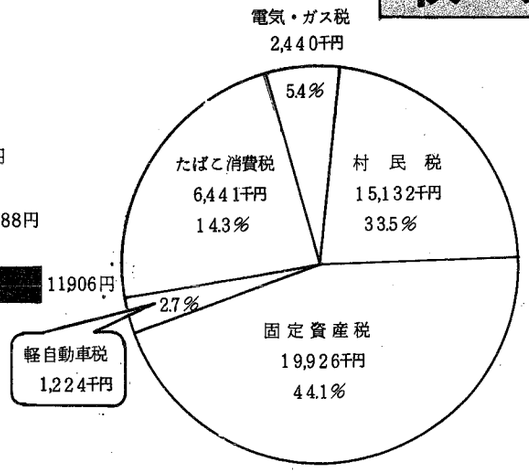
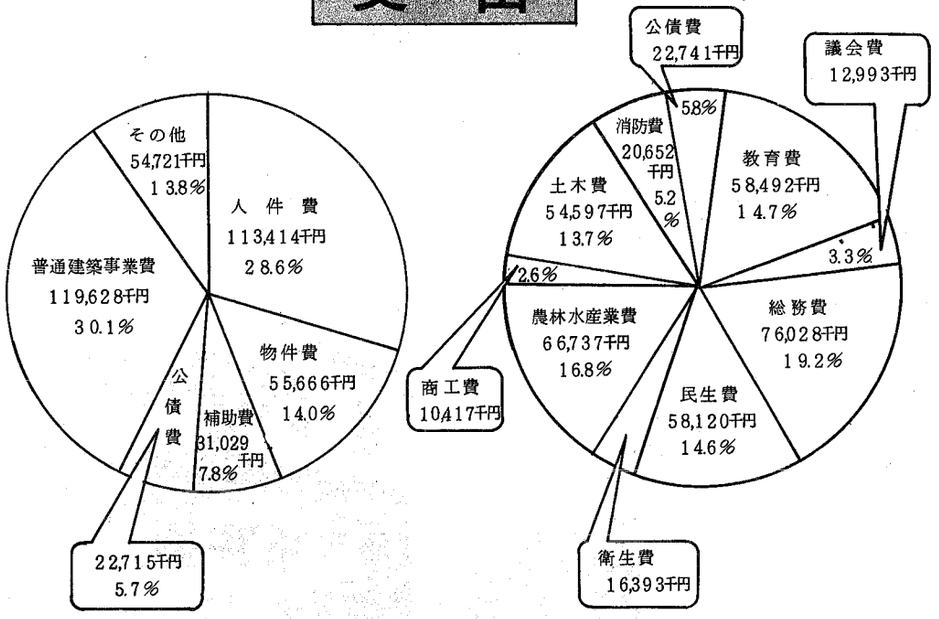
- 地方譲与税　4,308千円　1.0%
- 自動車取得税交付金　5,108千円　1.2%
- 分担金及負担金　43,800千円　10.5%
- 国庫支出金　25,371千円　6.2%
- 県支出金　10,904千円　2.6%
- 寄附金　310千円　0.1%
- 村債　12,600千円　3.2%
- 使用料及び手数料　929千円　0.2%
- 財産収入　1,572千円　0.4%
- 繰入金　5,000千円　1.2%
- 繰越金　5,076千円　1.2%
- 諸収入　25,510千円　6.2%

収入

1人当り納めた税金



村の税金



支出